

## *General Information*

### 江角学びの交流センター活動報告

# 平成 21 年度 活動 報告

---

## 江角学びの交流センター

### はじめに—概要—

本学附属研究機関は、平成20年9月、新たな装いを整えて「江角学びの交流センター」として発足した。当センターは、従来の「地域人間科学研究所」、「生涯学習センター」、「こども発達臨床センター」、の各活動を見直し、相互の連携を強めてその活動の実を上げることを目的として統合したものであり、センター長は地域人間科学研究所長が務め、これによってさらに広範で力強い研究活動・地域貢献活動を組織的に目指すものである。すなわち「江角学びの交流センター」の名のもとに、「地域人間科学研究所」「生涯学習センター」「こどもの未来支援室」の3部門が結集し、さらに事務部門を設置することによって、それぞれの構成員が相互に協力し合い、共同事業等を通して、活動内容を拡大・深化することになったのである。

### 1 地域人間科学研究所

地域人間科学研究所の活動は、所員の教育・研究活動に加え、研究紀要『想林』の発行および講演会・シンポジウム等の開催が中心となる。

平成21年度は本誌『想林』創刊号を発刊し、共修講座等の講師を務め本学と関わりをもたれた学外の方々から多数の御投稿をいただいた。記して感謝申し上げる。当センターの所期の目的である「地域とともに歩み、地域に開かれた」研究誌にふさわしい新たな歩を進めつつあるものと思っている。

また講演会に関しては、平成22年5月1日（土）に開催される読書フェア「読むよろこび 語るよろこび」(於・かごしま県民交流センター)の準備を着々と進めてきており、本学創立50周年記念と相俟って多くの

方々に御来場いただけることを期待している。

## 2 生涯学習支援室

生涯学習支援室の活動は、鹿児島県における「生涯学習」の推進に寄与することである。本学スタッフを中心に純心市民講座・共修講座等を開講するにあたり、自治体をはじめ地域の関係者から多大な御協力をいただいた。記して感謝申し上げる。

「純心市民講座」は昭和61年（1986）以来開講されてきており、講座の内容に変遷はあるものの、年を追うごとにその数を増やし発展してきた。発足当初から本学英語科の外国人教員が担当する英会話講座や食物栄養専攻教員が担当する調理実習講座、生活学専攻教員による芸術・工芸実習講座、また近年ではこどもの未来支援室との協力関係によって、地域の子育てを支援する「純心こども講座」等々を開講し地域社会の好評を頂いている。

平成21年度の生涯学習支援室が実施した「純心市民講座」は別表が示すとおりである。

### 平成21年度純心市民講座実施状況

講座区分	講座名	回	期日	担当講師	対象	定員	受講者数	会場
人間大学 (一般教養)	共修講座 かがしま学 木曜 14時50分～16時20分 (全15回)	1	4/9	濱里忠宜	一般成人	10名	3名	本学 (27-318)
		2	4/16	中野 翠				
		3	4/23	中野 翠				
		4	4/30	伊集院久信				
		5	5/14	伊集院久信				
		6	5/21	伊集院久信				
		7	5/28	伊集院久信				
		8	6/4	中野 翠				
		9	6/18	中野 翠				
		10	6/25	松尾千歳				
		11	7/2	奥崎泰久				
		12	7/9	桑水流淳二				
		13	7/16	寺田仁志				
		14	5/23	河野一典				
		15	6/20	河野一典				
人間大学 (一般教養)	現代を生きる知恵 (春季) 土曜 14時～16時 (全5回)  ※共催：鹿児島市教育委員会	1	6/20	濱里忠宜	一般成人	20名	11名	サンエールかごしま (4F-中研修室)
		2	6/27	河野一典				
		3	7/4	河野一典				
		4	7/11	谷村紀彰				
		5	7/18	谷村紀彰				

想林創刊号

講座区分	講座名	回	期日	担当講師	対象	定員	受講者数	会場
	現代を生きる知恵（秋季） 土曜 14時～16時 （全5回） ※共催：鹿児島市教育委員会	1	9/19	濱里忠宜	一般成人	20名	9名	サンエールかまごし（4F-中室） 研修
		2	9/26	河野一典				
		3	10/3	河野一典				
		4	10/10	谷村紀彰				
		5	10/17	谷村紀彰				
人間大学 （一般教養）	宗教と人生 土曜 14時～15時半 （全6回）	1	6/6	佐々木亘	一般成人	20名	9名	ザビエル教会教区棟議本部会 2F室
		2	7/11					
		3	8/8					
		4	9/5					
		5	10/3					
		6	11/7					
人間大学 （一般教養）	南九州市女性大学 土曜 13時半～15時半 （全5回）	1	5/16	濱里忠宜	一般成人	30名	12名	知覧文化 会館
		2	8/8	大富あき子			13名	
		3	10/10	中村伸一郎			7名	
		4	12/12	谷村紀彰			6名	
		5	1/23	佐々木澄			10名	
外国語講座 （語学）	英会話 初級（春季） 水曜 18時半～20時 （全10回）	1	5/13	アリス・ルー Alice Lu	15歳以上	20名	9名	鴨池公民館（第1室 研修A）
		2	5/20					
		3	5/27					
		4	6/3					
		5	6/10					
		6	6/17					
		7	6/24					
		8	7/1					
		9	7/8					
		10	7/15					
	英会話 中級（春季） 火曜 18時半～20時 （全10回）	1	5/12	クリスティー・ エクスレイ Kristi Exley	18歳以上	20名	7名	鴨池公民館（第1室 研修A）
		2	5/19					
		3	5/26					
		4	6/2					
		5	6/9					
		6	6/16					
		7	6/23					
		8	6/30					
		9	7/14					
10		7/21						
英会話 上級（春季） 火曜 18時半～20時 （全10回）	1	5/12	ソーニャ・ ゴヴイ Sonya Govey	18歳以上	20名	12名	鴨池公民館（第1室 研修B）	
	2	5/19						
	3	5/26						
	4	6/2						
	5	6/9						
	6	6/16						
	7	6/23						
	8	6/30						
	9	7/14						
	10	7/21						

平成21年度 活動報告 江角学びの交流センター

講座区分	講座名	回	期日	担当講師	対象	定員	受講者数	会場
外国語講座 (語学)	英会話 初級 (秋季) 水曜 18時半～20時 (全10回)	1	9/30	アレナ・スニース Alanna Sneath	15歳以上	20名	12名	鴨池公民館 (第1室 研修A)
		2	10/7					
		3	10/14					
		4	10/21					
		5	10/28					
		6	11/4					
		7	11/11					
		8	11/18					
		9	11/25					
		10	12/2					
	英会話 中級 (秋季) 火曜 18時半～20時 (全10回)	1	9/29	クリスティ・ エクスリイ Kristi Exley	18歳以上	20名	11名	鴨池公民館 (第1室 研修A)
		2	10/6					
		3	10/13					
		4	10/20					
		5	10/27					
		6	11/10					
		7	11/17					
		8	11/24					
		9	12/1					
		10	12/8					
	英会話 上級 (秋季) 火曜 18時半～20時 (全10回)	1	9/29	ソーニャ・ ゴウエイ Sonya Go- vey	18歳以上	20名	14名	鴨池公民館 (第1室 研修B)
		2	10/6					
		3	10/13					
		4	10/20					
		5	10/27					
		6	11/10					
		7	11/17					
		8	11/24					
		9	12/1					
		10	12/8					
外国語講座 (語学)	はじめての英会話 (幼児コース・春季) ①4歳児コース 土曜 9時～9時50分 ②5・6歳児コース 土曜 10時～10時50分 (各コース 全6回)	1	6/20	クリスティ・ エクスリイ Kristi Exley	就学前の 児童(4 ～6歳)	①10名 ②12名	①10名 ②13名 (計23名)	本学 プレイルーム
		2	6/27					
		3	7/4					
		4	7/11					
		5	7/18					
		6	7/25					
	はじめての英会話 (幼児コース・秋季) ①4歳児コース 土曜 9時～9時50分 ②5・6歳児コース 土曜 10時～10時50分 (各コース 全6回)	1	10/10	クリスティ・ エクスリイ Kristi Exley	就学前の 児童(4 ～6歳)	①10名 ②10名	①12名 ②12名 (計24名)	本学 プレイルーム
		2	10/17					
		3	10/31					
		4	11/7					
		5	11/14					
		6	11/21					

想林創刊号

講座区分	講座名	回	期日	担当講師	対象	定員	受講者数	会場
	はじめての英会話 (小学生コース・春季) ①1～3年生コース 土曜 9時～9時50分 ②4～6年生コース 土曜 10時～10時50分 (各コース 全6回)	1	6/20	ジャン・オ ラクリン Jan O' Loughlin	小学生	①15名 ②15名	①10名 ②7名 (計17名)	本学 (10-401)
		2	6/27					
		3	7/4					
		4	7/11					
		5	7/18					
		6	7/25					
	はじめての英会話 (小学生コース・秋季) ①1～3年生コース 土曜 9時～9時50分 ②4～6年生コース 土曜 10時～10時50分 (各コース 全6回)	1	10/10	ジャン・オ ラクリン Jan O' Loughlin	小学生	①15名 ②15名	①7名 ②7名 (計14名)	本学 (10-401)
		2	10/17					
		3	10/31					
		4	11/7					
		5	11/14					
		6	11/21					
生活学講座 (趣味)	親子でクッキング 10時～13時	1	8/8	進藤 智子	小学生の 親子	15組 40名	13組 33名	本学 調理室 (1-101)
	大島紬を用いた創作 10時～13時	1	8/8	西之園 君子	一般成人	20名	12名	本学 服飾デザイン室 (1-503)

別表が示すとおり、平成21年度の純心市民講座は、受講生が定員に満たない講座が少なからずあるものの、適正な人数で予定どおり全講座を開講することができたのは、ひとえに熱心に参加された受講生のおかげである。厚くお礼申し上げる。また以下については特に記して謝意を表したい。

平成20年度以来、英語科1年生の前期・正規授業である「かごしま学」(総合人間科目・選択・木曜4限)を共修講座として、一般市民に開放している。一般の受講生3名も積極的に授業に参加され、学生にとって良い刺激を与えていただいた。

十余年続いてきた川辺女性大学(川辺町教育委員会共催)は、川辺町・知覧町・穎娃町の合併により南九州市のご理解、ご支援のもと、平成20年度より南九州市女性大学として継承されている。

子育て支援講座の開催にあたり、株式会社山形屋から、ボランティアで講師派遣と商品の陳列をしていただいた。

各種講座で多数の本学学生がボランティアとして講師を助けたり、託

児を行ったりした。

最後に「生涯学習支援室」は、今後も次のような具体的な活動方針を示して、さらなる地域への生涯学習支援活動の拡充に努めていく所存である。

- (1)「純心市民講座」が一層多くの市民に身近で親しまれる活動として浸透するように広報に努める。
- (2)講座の会場を本学以外に、交通の便の良い市街地に拡げるとともに、地方へも積極的に出向き、さらに多様な学習の場を提供して受講生の便宜と拡大を図る。
- (3)公共機関および各種団体・企業の協力を仰ぎ、できるかぎり安価で魅力的な講座の開催を目指し、鹿児島県における生涯学習への関心を高める。
- (4)学生ボランティアを積極的に活用し学生の社会参画を促進することによって、実社会での学びの場を提供するとともに将来の生涯学習者を育成する。
- (5)「地域人間科学研究所」と「こどもの未来支援室」との連携を強め、他部門主管の活動への協力と共催に努める。

地域の間関係がますます希薄になっていると危惧される昨今、人びとがふれあい、ともに学ぶコミュニティを創出する一助になれば幸いである。  
(文責 河野一典)

### 3 こどもの未来支援室

こどもの未来支援室では、地域社会への貢献及び学生の主体的活動による体験を重視した保育者育成を目的として、以下の三つの活動を実施した。

#### (1) 純心こども講座

—専門教育科目「こども学フィールドワークⅠ」の発展—

想林創刊号

○リズムあそび

講座区分	講座名	回	期日	担当講師	対象	定員	受講者数	会場
純心こども講座	リズムあそび 10:30~11:30	1	5/16	吉留早木子	就学前の児童 (2~6歳)の親子	50組	26組	本学 体育館
		2	6/20				37組	
		3	7/11				25組	
		4	10/17				24組	

○いろとあそぼう・かたちとあそぼう

講座区分	講座名	回	期日	担当講師	対象	定員	受講者数	会場
純心こども講座	いろとあそぼう・かたちとあそぼう 10:30~11:30	1	5/23	小江香南子	就学前の児童 (2~6歳)の親子	20組	19組	本学 江角学び の交流セ ンター
		2	6/27				14組	
		3	9/26				13組	
		4	10/10				12組	プ レ イ ル ー ム

(2) 子育てママを応援しますーちょっとリフレッシュしませんかー

講座区分	講座名	回	期日	担当講師	対象	定員	受講者数	会場
純心こども講座	子育てママを 応援します 10:00~12:00	1	6/7	塚田まゆみ 森木 朋佳	就学前の児童 をもつ方	40名	25名	サンエール かごしま (3F-生活 工房)

内容：子育てマップ作成

数字のうた（冊子作成・色ぬり）

情報交換

手あそび・指あそびの紹介

親子のファッション紹介、化粧品関係の紹介（協賛 株式会社山形屋）

学生ボランティア：生活学科こども学専攻1年生7人（託児・手あそび・指あそび実演）

講座の様子





### 参加者の声


- ・子育て情報は、参考になりました。子育てマップはとても見やすくできているので、これからの外出に役に立ちそうです。
- ・子どもに、数字に親しんで遊べるようなおみやげができて良かったです。
- ・一緒に参加した方と話ができて、リフレッシュできました。
- ・様々な情報が入り、盛り沢山の2時間でした。
- ・「子育てのテーマ」で単発に、またあったらいいなと思います。
- ・今後は習ったもので、子どもと一緒に楽しみたい。
- ・恥ずかしかったけれど、童心に戻ってなんだかすっきりした。
- ・母親の視点で鹿児島市内を見てみると、結構色々な場所や、イベントがあることに気づきました。これからもどんどん出かけていきたいと思っています。
- ・歌あそびとおどり、最初は緊張しましたが大人でも楽しめました。帰ったら子どもと主人にも教えたいです。またこのような講座をお願いします。

(3) 親子のお楽しみクリスマス会

講座区分	講座名	回	期日	担当講師	対象	定員	受講者数	会場
純心こども講座	親子のお楽しみクリスマス会 10:00~11:30	1	12/12	こどもの未来支援室	就学前の児童(2~6歳)の親子	50組	43組 110名	本学プレイルーム

参加者内訳：保護者45名 こども65名 計110名

実施状況

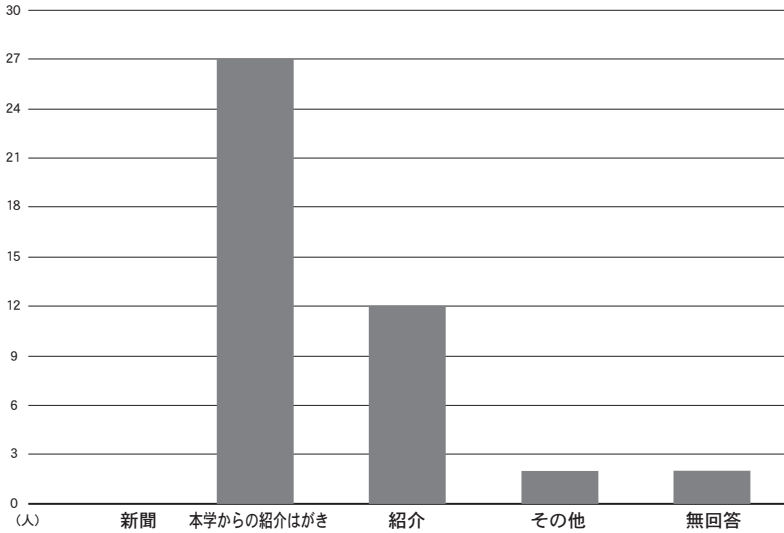
プログラム	内 容
1 はじめのことば	
2 クリスマスについてのセレモニー	・クリスマスについてのビデオの上映 *低年齢児向け：教室後方にて学生による絵本の読み聞かせ
3 おたのしみタイム	・楽器「手作りのすず」を作ろう (作り方はスクリーンにて説明)
4 こどもバンドの演奏 「赤鼻のトナカイ」 「あわてんぼうのサンタクロース」 「サンタが町にやってくる」	・おたのしみタイムで作成した楽器を使用してこどもバンドの演奏に参加。
5 サンタさんからのプレゼント	・サンタさんからのプレゼント（下記写真参照）加えて、ピアノ演奏のプレゼント。
6 おわりのことば アンケートの配布および回収	

学生ボランティア：69名

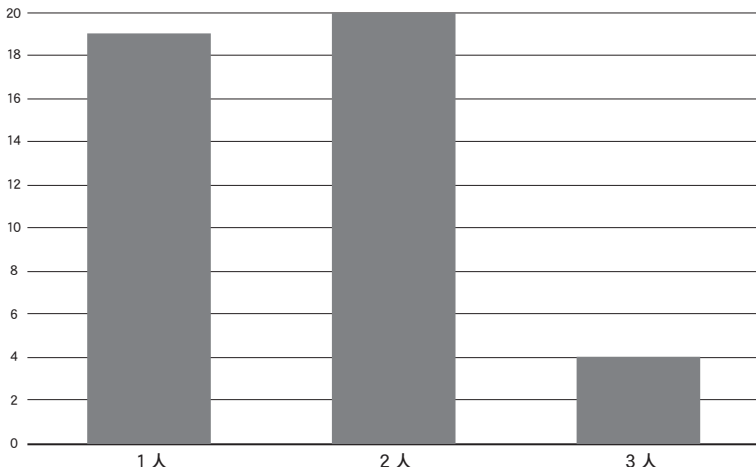
- ・全体の企画・運営
- ・会場の設営、片付け
- ・司会・進行
- ・こどもバンドの演奏
- ・プレゼントの準備
- ・おたのしみタイム・手作り楽器（すず）づくりの準備
- ・セレモニーの準備 等

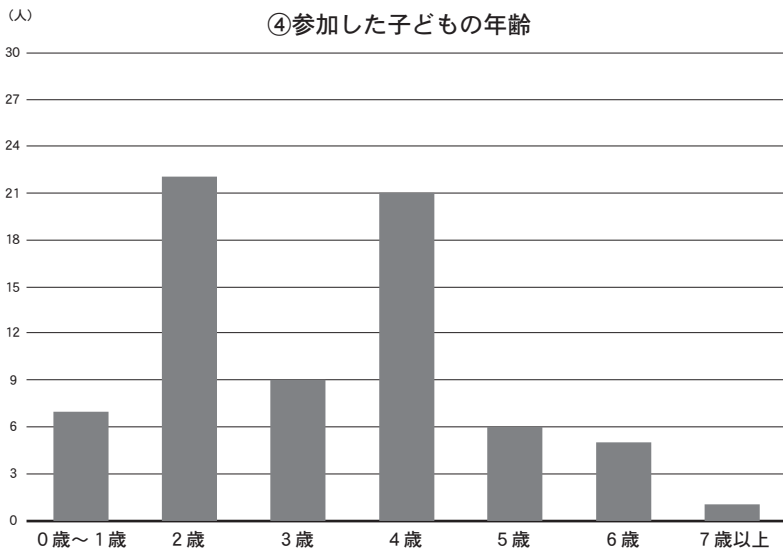
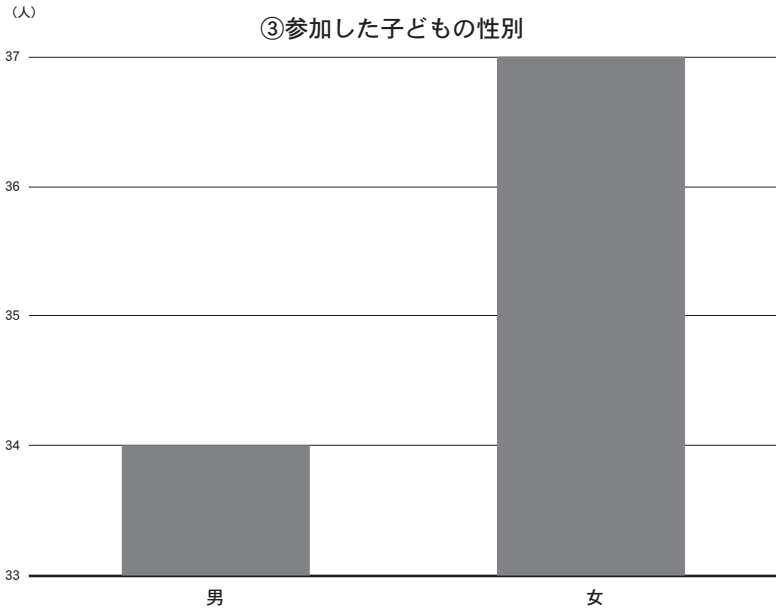
実施後のアンケート集計結果：

(ウ) ①「親子のお楽しみクリスマス会」があることの情報入手方法



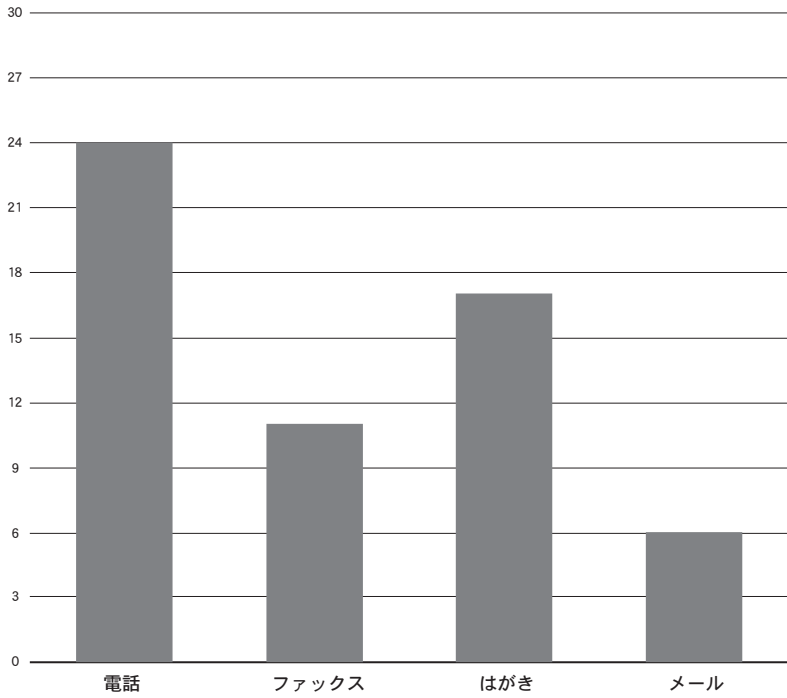
(ウ) ②一家族あたり参加した子どもの人数

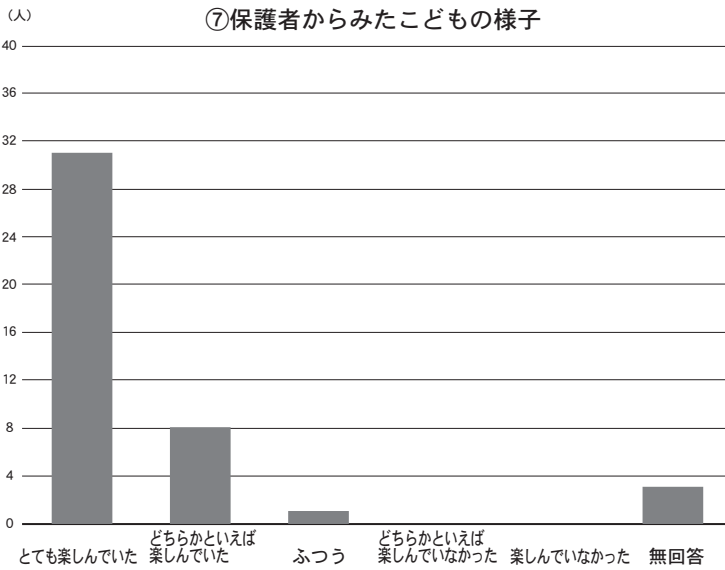
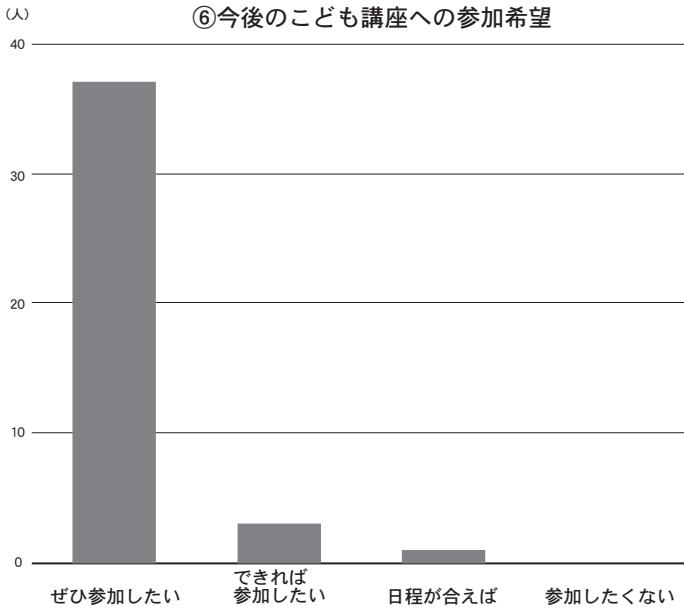




(人)

⑤次回からに希望する申し込み方法





## おわりに

平成21年度は「純心こども講座」・「子育てママを応援します」・「親子のお楽しみクリスマス会」の大きく三つの活動を実施してきた。地域への貢献ということに関しては、なるべく多くの方々に本学の教育の様子を知っていただくために、気軽に遊び感覚で足を運んでいただき、その上で子どもの未来を支援したいという強い思いを持っている。

「子どもの未来支援室」の窓口となっている生活学科こども学専攻は、保育士や幼稚園教諭といった特に乳幼児期の子どもとかかわる保育の専門家である保育者育成の専攻である。保育者を目指す学生とはいえ、今どきの若者は小さい子どもとかかわる経験をしていない、かかわったとしても非常に希薄な経験に過ぎない等が指摘されている。

そこで、本学で学ぶ学生には、より多くの子どもや親子に実際に触れ合う機会を創出し、子どもの成長のためにはどのような支援ができるのかを経験から学び、卒業後はそれぞれの保育現場で即戦力となりうる保育者に養成したいというのが私共の願いである。学生自らが企画立案し、自分たちで準備運営するという体験重視の実践的な学習の展開により、上記三つの活動体験を通して、その礎ができてきているのではないかと嬉しく感じているところである。

今後はさらに、本学を卒業し保育現場で就労中の方々に対して、リカレント教育機関として支援できる体制の構築を図るとともに、しばしば鹿児島弁で口にされる「じっのある保育者」、いわゆる力のある保育者・心のある保育者を養成し、高等教育機関としての使命を果たしていくべく具体的な策を講じていかねばならないと考えている。

この事業の推進にあたって、労をいとわず学生指導等に携わっていただいた本学生活学科こども学専攻のスタッフ、ならびに、吉留早木子先生、小江香南子先生、本学事務職員の皆様に心から感謝申し上げたい。

(文責 塚田まゆみ)